

# 平成14年度定期作況報告

10月20日現在  
北海道立根釧農業試験場

## 気象概況

9月下旬から10月中旬までの気象概況は次のとおりである。

9月下旬：最高および最低気温が18.1および7.8 で、それぞれ平年並みであったため、平均気温は13.0 で平年並みであった。降水量は51mmで平年より32mm少なかった。日照時間は46.3時間で平年並みであった。

10月上旬：最高および最低気温が17.8および8.5 で、それぞれ平年より1.3および2.4 高かったため、平均気温は13.2 で平年より1.9 高かった。降水量は1～2日の台風21号の影響を受け165mmで平年より126mm多かった。日照時間は38.9時間で平年より9.2時間少なかった。

10月中旬：最高および最低気温が15.6および3.8 で、それぞれ平年並みであったため、平均気温は9.7 で平年並みであった。降水量は3mmで平年より24mm少なかった。日照時間は63.1時間で平年より11.9時間多かった。

この1ヶ月間は総じて、気温、日照時間は平年並みであったが、台風21号の影響を受け降水量は平年より多く推移した。

気象表

項目	9 月 下 旬			10 月 上 旬			10 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ( )	13.0	13.2	0.2	13.2	11.3	1.9	9.7	9.2	0.5	12.0	11.2	0.7
最高気温 ( )	18.1	18.1	0.0	17.8	16.5	1.3	15.6	15.0	0.6	17.2	16.5	0.6
最低気温 ( )	7.8	8.3	0.5	8.5	6.1	2.4	3.8	3.4	0.4	6.7	5.9	0.8
降水量 (mm)	51.0	83.0	32.0	165.0	39.0	126.0	3.0	27.0	24.0	219.0	149.0	70.0
降水日数 (日)	4	4.6	0.6	5	4.5	0.5	2	3.8	1.8	11	12.9	1.9
日照時間 (時間)	46.3	42.5	3.8	38.9	48.1	9.2	63.1	51.2	11.9	148.3	141.8	6.5

注1) データはアメダス(中標津)観測値を用い根釧農試で算出

2) 平年値は平成4年～平成13年の10カ年平均値

3) は負の値を示す

## 当 場 作 況

### 1. とうもろこし

作況： 不良

事 由 9月下旬以降、強霜にみまわれることはなく、10月上旬の台風21号通過後の暖気により、登熟期間を長めにとることができた。収穫期は平年より6日遅い10月15日となった。

乾物収量は、茎葉は平年よりやや多かったが、雌穂で平年より少なく、総重では1031kg/10aと平年を71kg下回った。TDN収量は693kg/10aと平年より80kg少なく、対平年比は90%であった。熟度は糊熟中期であり、平年に及ばなかった。

以上のことから、作況は不良と判断される。

品 種 名	収穫期 (月日)			生草収量 (kg/10a)								
	本 年	平 年	比 較	茎 葉			雌 穂			総 重		
				本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
エ マ	10.15	10. 9	6	3,581	3,395	186	1,026	1,116	90	4,607	4,512	95
(ヒノデワセ	-	10. 4	-	-	2,558	-	-	1,243	-	-	3,801	-

品 種 名	乾物収量 (kg/10a)									総体の乾物率		
	茎 葉			雌 穂			総 重			( % )		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
エ マ	682	612	70	348	470	122	1,031	1,102	71	20.3	24.6	4.3
(ヒノデワセ	-	508	-	-	602	-	-	1,110	-	-	28.0	-

品 種 名	TDN収量 (kg/10a)			乾物中TDN率 (%)			熟 度		
	本 年	平 年	比 較	平 年 比	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年
エ マ	693	773	80	90	67.3	70.0	2.7	糊熟中期	黄熟初期
(ヒノデワセ	-	774	-	-	-	71.8	-	-	糊熟後期)

- 注) 1)根釧農業試験場内試験圃場におけるデータ。  
 2)「エマ」の平年値は、本年と同様の耕種概要で「エマ」が供試された「品種比較試験」もしくは「系統適応性検定試験」の前7カ年の結果から、豊凶の平成8年および11年を除く5カ年の平均値。  
 3)下段の数値は、昨年まで当场作況圃場にて供試していた「ヒノデワセ」の平年値（平成7年～13年のうち豊凶の平成7年および13年を除く5カ年の平均値）。  
 4) は減を示す。  
 5)TDN収量は、新得方式により算出した値。

## 2. 牧 草

### (1)放牧型（オーチャードグラス・ラジノクローバ混播）

作況：5 番草 やや良

#### 事 由

5 番草：草丈はオーチャードグラスで平年に比べ3cm低く、ラジノクローバは平年並であった。  
 マメ科率は平年並で、乾物収量は平年対比指数が113と多かった。  
 5 番草の作況はやや良と判断される。

草 地 草種		5 番 草					
		刈取り月日			草 丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
「オカミドリ」 2年目	OG	10.1	10.1	0	37	40	3
	LC	10.1	10.1	0	23	23	0
「オカミドリ」 3年目	OG	10.1	10.2	1	36	38	2
	LC	10.1	10.2	1	23	23	0

草 地	5 番 草									
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				マメ科率(生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較
「オカミドリ」2年目	847	819	28	129	114	15	113	59.2	48.9	4
	3年目	886	834	52	129	115	14	112	38.9	42.5

注 1) 根釧農試定期作況圃場におけるデータ

2) OG：オーチャードグラス（品種「オカミドリ」）

LC：ラジノクローバ（品種「カリフォルニアラジノ」）

3) 平年値は根釧農試定期作況報告のデータより作成

2年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

3年目草地は平成11年および13年を除く5か年平均値

4) は減を示す